

令和元年度第2回花緑検証委員会 主な意見と対応

第2回の意見	対応方針（案）
1 事業効果の評価に関するご意見	
<p>○ 事業効果全般</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏以降、大きな被害を伴う豪雨災害が続 き、災害発生リスクの高まりとともに国民の意識も変わってきている。このような変化が緑や環境に密接に結びついていること もあるので、これらを踏まえた報告書と するべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の趣旨を踏まえ、「事業をとりま く状況」を報告書（案）に新たな項目と して追加しました。（P. 2、3）
<p>○ 防災効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業によるヒートアイランド現象の緩 和や貯留浸透機能の向上は自然災害リス クに直接貢献しているわけではないが、自 然災害への恐怖や不安が全国的に高まっ ているなか、僅かながらでも貢献してい ることは確かであり、大雨による災害発生 リスクの軽減に寄与していることを積極的 に記載するべき。 近年、街路樹は倒木など防災上の懸念か ら低くカットしたいという傾向があるな か、街路樹による建物倒壊防止はあまり例 がなく、効果として記載することは疑問。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の趣旨を踏まえ、報告書（案）に 追加しました。なお、水害リスクの軽減 をはじめとする防災効果は、今回実施し たアンケートの結果からも、実施団体が 実感しにくい効果の一つであることが 明らかになっています。（P. 27） 街路樹が倒壊した家屋を支えた事例が あり、避難経路の確保という防災上の効 果もあることから記載しているもので す。一方で、街路樹の転倒の危険性につ いて指摘されていますので、ご指摘の趣 旨を踏まえ、報告書（案）を修正しまし た。（P. 30）
<p>○ コミュニティ形成効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業を活用した団体が、緑化活動に関す る大臣表彰など多数受賞している。兵庫の 緑化活動は先進的であると全国的に評価 されており、本県のまちづくりイメージの ブランディング向上にも寄与しているこ とを記載すべき。 住民参画が本事業の特徴であり、まちづく りやコミュニティ形成の観点から事業効 果を示すことが重要。関わった人数やど のような方が参加したかが効果として大き い。 	<ul style="list-style-type: none"> ご指摘の趣旨を踏まえ報告書（案）に追 加しました。本事業は、植栽から維持管 理に至るまで県民の参画により実施す ることとしており、地域コミュニティが 活発になる一因と考えています。（P. 35） 本事業に関わった人数は把握していませ んが、コミュニティ形成効果に、県民ま ちなみ緑化事業を活用した住民団体を 追加しました。（P. 34）

第2回の意見	対応方針（案）
<p>○ 地域核の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業により地域の在来種を植栽するなど地域の自然や緑に関わることで地域特性に気づききっかけとなるだけでなく、他の事業を行う際にも、こうした地域特性に反応するのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の趣旨を踏まえ、地域文化と関わりの深い在来種を植栽したことで、地域特性に気づきアイデンティティの形成など他の事業にも波及したことについて、報告書（案）に追加しました。（P. 36）
<p>○ その他の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該事業により外来種を除去し地域の在来種を保全することは、生物多様性確保の意識向上にも寄与していることを関連づけて記載すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の趣旨を踏まえ、在来種の保全の取組みが外来種の侵食から守っていることについて報告書（案）に追加しました。（P. 37）
<ul style="list-style-type: none"> ・一般緑化の事例紹介では一企業に多額の補助金をつぎ込んで緑化した印象を受けるが、実際は実施者である企業が補助額以上の負担をして緑化している。本事業をきっかけに周辺の企業や人々に緑のまちづくりが広がり、緑化が進んだという正しい記載にすべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業にあわせて、事業者の自主的な緑化も行われ、緑地面積が大幅に増加したことを記載しました。（P. 41）
<h2>2 事業実施者向けアンケートに関するご意見</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> ・実施者が実感した緑化の効果に関するアンケートには事業メニューによっては関係性の低い設問がある。このような設問に対する回答について、「効果がないと感じた場合」と「事業メニューと関係がない場合」が区別できるように工夫する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本アンケートは、メニュー別、実施主体別に事業実施者が感じる効果の違いを比較し評価を行うため、事業メニュー等に関係なく比較検討できる設問としています。ご指摘のとおり、事業メニューによっては関係性の低い設問がありますが、アンケートの趣旨から「事業メニューからすると設問とは関係がない」への回答は「効果を感じていない」と評価することが適切と考えています。
<h2>3 今後の方向性に関するご意見</h2>	
<ul style="list-style-type: none"> ・三宮のような高密集市街地は衛星写真をみる限り緑被率は非常に低く、これを増やしていくのは難しい。街なかを歩けば緑はあり、一定の緑視率はあるため、緑視率など緑被率以外の指標を掲げるほうが現実的ではないか検討すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘の趣旨を踏まえ報告書（案）に追記しました。人口集中地区における緑化は、量の確保に加え、質の向上も念頭に置きながら、今後の施策展開を検討していきます。（P. 52）